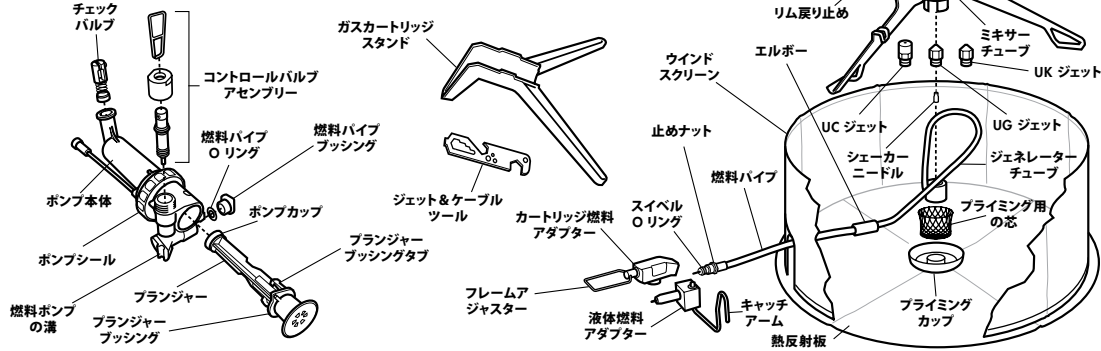


MSR® WHISPERLITE™ UNIVERSAL ストープについて知りましょう。

WhisperLite Universal ストープの各部分についてよく理解し、使用する前に以下の手順に従ってください。このストープは、様々な燃料に対応していますので、予め取り付けられている UC ジェットやカートリッジ燃料アダプターを使用の前に交換しなければならない場合も発生します。

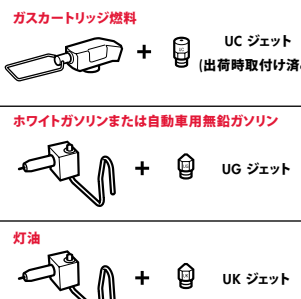


警告

以下の場合には、ストープを使用しないでください。(1) この取扱説明書をすべて読み、完全に内容を理解する前、(2) 燃焼しているストープ、または熱いストープを取り扱うことに対して、まだ慣れていないか不安な場合、(3) 燃料が漏れているか発熱した場合、(4) ストープあるいはその周囲に直火器具の操作を危険にする要因を発見した場合、これらの指示に従わなかった場合、火災、ヤケド、重度の怪我、死亡に至る危険が発生する恐れがあります。

ストープの準備

WhisperLite™ Universal ストープは、ホワイトガソリン、自動車用無鉛ガソリン、灯油、ガスカートリッジ、いずれかを燃料としますが、燃料に合わせた部品を変更する必要があります。ストープを使用する前に、適切なジェットと燃料アダプターを選んで取り付けてください(「燃料情報」を参照)。



燃料を換えるためのストープのセット

- 1. 五徳を畳みます。
2. プライミングカップを回して締めて、芯を取り外します。
3. ストープから燃料パイプを取り外します。
4. 取り付けられているジェットをジェット&ケールツールで締めます。
5. エルボー内のシェーカーニードルを紛失しないよう注意しながらジェットを外します。
6. 折りたたんだ五徳を持って、燃料パイプを取り付けます。
7. 芯を元に戻し、プライミングカップをねじ込んでストープを組み立てなおします。

燃料アダプターの交換

- 1. ジェット&ケールツールを用いて、取り付けられている燃料アダプターの止めナットを締めます。
2. 止めナットを外し、燃料パイプから燃料アダプターを取り外します。
3. 燃料パイプの端を使用する燃料アダプターに挿入します。
4. ジェット&ケールツールを用い、止めナットをしっかりと締めこみます。

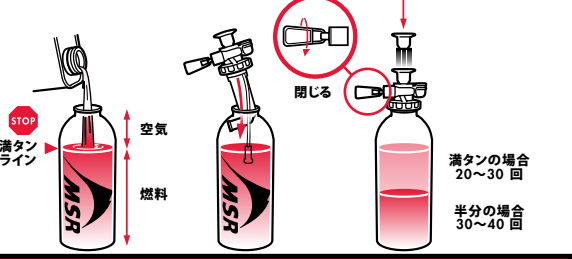


燃料ボトルの準備

燃料に合ったジェットと燃料アダプターが正しくセットされていることを確認します(「ストープの準備」参照)。液体燃料を使用する場合は、ストープを使用する前に燃料ボトルを準備します。ガスカートリッジ燃料を使用する場合は、ここを飛ばし、「ステップ1: ストープのセット」に進みます。

液体燃料の燃料ボトルの準備

- 1. 燃料ボトルの満タンラインを超えないでください。
2. 燃料膨張のために、空気スペースが必要です。
3. 燃料ボトルにポンプを挿入し、しっかりと締めます。
4. 燃料ボトルを加熱する前に、濡れないことを確認してください。
5. コントロールバルブを開き、フレンジャスターをポンピングします(20~30回)。
6. しっかりと抵抗が感じられるまでポンピングします。
7. 燃料ボトルの中心が少ない場合、ポンピング回数をさらに多くして加圧する必要があります。

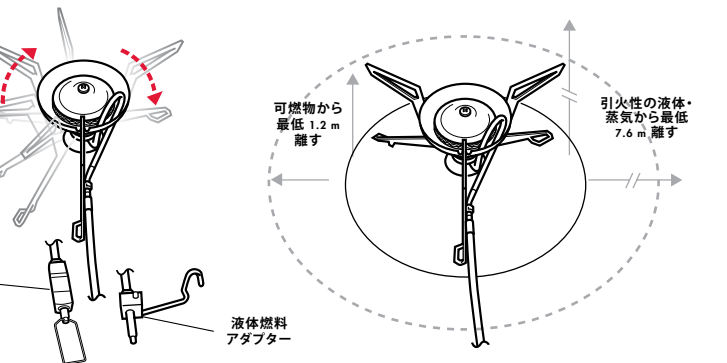


警告

燃料ボトルは、MSR®燃料ボトル以外使用しないでください。MSR燃料ボトル以外を使用すると燃料漏れが発生し、火災、ヤケド、重度の怪我、死亡事故に至る危険があります。ストープや燃料のそばに小児を近づけないでください。カスケードデザイン社では、3m以上遠ざけることをお奨めします。燃焼しているストープや熱いストープから目を離さないでください。ストープを放置すると、火災になる恐れがあります。小児、ペット、ストープに気が付かない人が、ヤケドや怪我をしたり死亡事故に至る場合があります。氷点下の状態では、ストープを使用する場合は、細心の注意を払ってください。氷点下では、0リングが硬くなり、燃料が漏れる可能性があります。燃料ボトルの加圧およびプライミングの前後、ストープに点火後は、燃料が漏れていないか常に確認してください。燃料漏れを起こしているストープを使用すると、火災、ヤケド、重度の怪我、死亡事故を引き起こす恐れがあります。

ストープの設置

- 1. コントロールバルブ、フレンジャスターバルブを閉じます。
2. 3本の脚の五徳を開きます。
3. ストープを熱反射板の中央の上に置きます。



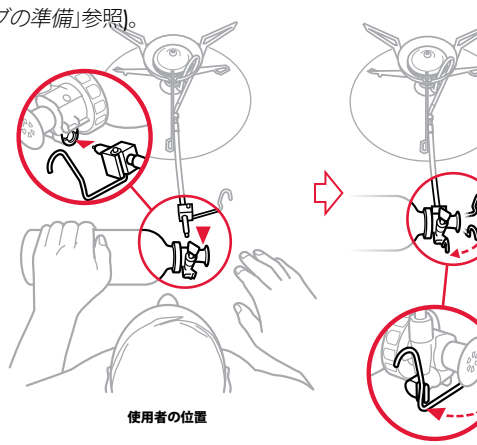
警告

可燃物は、燃焼しているストープや点火しようとしているストープの上部および周囲から少なくとも1.2m離してください。引火性液体や可燃性蒸気は、燃焼しているストープや点火しようとしているストープの上部および周囲から少なくとも7.6m離してください。このストープは、可燃物、引火性液体、可燃性蒸気を引き起こす恐れがあります。火災、ヤケド、重度の怪我、死亡事故を引き起こす恐れがあります。このストープは野外(テントなどの密閉された空間ではない)で、水を沸騰させたり、調理するために設計されています。それ以外の目的では使用しないでください。密閉された空間でストープを使用した時、水を沸騰させたり調理をする目的以外で使用すると、火災、ヤケド、重度の怪我、死亡事故に至る恐れがあります。

ストープに接続

ホワイトガソリンおよび自動車用無鉛ガソリンには UC ジェットと液体燃料アダプターを使用します。灯油には、UK ジェットと液体燃料アダプターを使用します(「ストープの準備」参照)。

- 1. 液体燃料アダプターの先端の黄銅製の部分全体に唾またはオイルを塗ります。
2. ポンプに液体燃料アダプターの先端を完全に差し込みます。
3. コントロールバルブが上向きになるよう燃料ボトルを横向きにします。
4. キャッチアームを燃料ポンプの溝にしっかりと固定します。
5. 安全確保のため、燃料パイプをしっかりと保ってください。
6. 燃料ボトルは、燃料が少なくなるまで定期的に来るようにします。



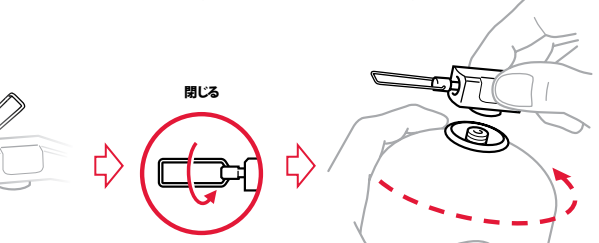
警告

ご使用の際は、燃料ボトル、ポンプ、燃料パイプ、バーナー、ストープの下、ストープの周囲に燃料が付着しないことを確認してください。燃料が付着していたり、燃料臭がある場合は、ストープに点火しないでください(「トラブルシューティング」参照)。燃料漏れたことかある状態あるいは燃料漏れが起きている状態でストープを使用すると、燃料が引火し、火災、ヤケド、重度の怪我、死亡事故を引き起こす恐れがあります。ストープの使用時やストープがまだ熱い時、あるいは裸火の近くでは、燃料パイプ、ポンプ、燃料ボトルを決して外さないでください。コントロールバルブが開いている時(燃料が流れている時)、燃料パイプ、ポンプ、燃料ボトルを決して外さないでください。ストープの使用時やストープがまだ熱い時あるいは裸火の近く、あるいはコントロールバルブが開いている時(燃料が流れている時)、燃料パイプ、ポンプ、燃料ボトルを決して外さないでください。燃料が漏れている原因となる場合があります。

ストープに接続

ガスカートリッジには UC ジェットとカートリッジ燃料アダプターを使用します(「ストープの準備」参照)。

- 1. フレンジャスターを開きます。
2. カートリッジ燃料アダプターのフレンジャスターバルブを閉じます。
3. ガスカートリッジをカートリッジ燃料アダプターに取り付けます。

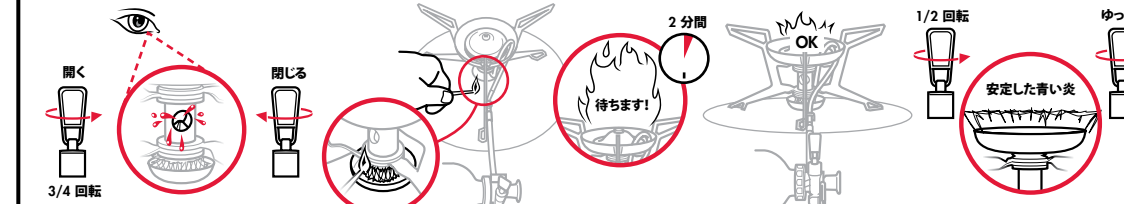


警告

ガスカートリッジは、ストープにつく締めすぎないでください。締めすぎると、ストープが破損したり、カートリッジが燃料漏れを起こす可能性があります。燃料漏れは、火災、ヤケド、重度の怪我、死亡事故等の原因となります。氷点下の状態では、ストープを使用する場合は、細心の注意を払ってください。氷点下では、0 リングが硬くなり、燃料が漏れる可能性があります。ストープに点火する前後は、燃料が漏れていないか常に確認してください。燃料漏れを起こしているストープを使用すると、火災、ヤケド、重度の怪我、死亡事故を引き起こす恐れがあります。ストープや燃料のそばに小児を近づけないでください。カスケードデザイン社では、3m以上遠ざけることをお奨めします。燃焼しているストープや熱いストープから目を離さないでください。ストープを放置すると、火災になる恐れがあります。小児、ペット、ストープに気が付かない人が、ヤケドや怪我をしたり死亡事故に至る場合があります。カートリッジは、CAN/CSA 339 に準拠して製造・表記されています。それ以外の目的では使用しないでください。

ストープの点火

- 1. スプーン 1/2 杯分の燃料を出します。
2. プライミングカップの燃料に点火します。
3. 予熱の炎が小さくなるまで待ちます(約2分間)。
4. コントロールバルブを1/2回転してバルブを開き、青く安定した炎になるまで待ちます。
5. ゆっくりとコントロールバルブを開きます。



警告

ストープの予熱中、点火中、燃焼中は、顔や体がストープの上に来ないようにしてください。ストープは直火なので、顔や体をストープの上に持つことは、火災、ヤケド、重度の怪我、死亡事故を引き起こす可能性のある危険な行為です。予熱中は、燃料を使用し過ぎないでください。予熱に余分の燃料を使用すると、燃料漏れや燃料がこぼれる原因となり、火災、ヤケド、重度の怪我、死亡事故を引き起こす恐れがあります。ストープが冷めきっていない状態で再度点火しないでください。再度点火するには、火が消えてから最低5分間冷まします。ストープの温度が高い状態で再度点火すると、大きな炎が発生し、火災、ヤケド、重度の怪我、死亡事故を引き起こす恐れがあります。熱いストープや燃焼中のストープを移動しないでください。移動する前には、ストープの火を消してから必ず最低5分間冷まします。熱いストープや燃焼中のストープを移動すると、火災、ヤケド、重度の怪我、死亡事故を引き起こす恐れがあります。

ストープの点火

- 重要: 大きく炎が上がるのがないように、ガスカートリッジは、必ず直立させた状態で点火してください。
蒸気供給モード(ほとんどの状態、とろ火に最適)
液体供給モード(極寒状態、高出力/沸騰)
1. ガスカートリッジスタンドをカートリッジ燃料アダプターの upper に取り付けます。
2. バーナーヘッドの端の上方に火のついたマッチまたはライターをかざします。
3. フレンジャスターバルブを開いて(3/4回転)燃料を出し、点火します。
4. コントロールバルブを開いて(3/4回転)燃料を出し、点火します。
5. フレンジャスターバルブを調節して安定した青い炎になるようにします。

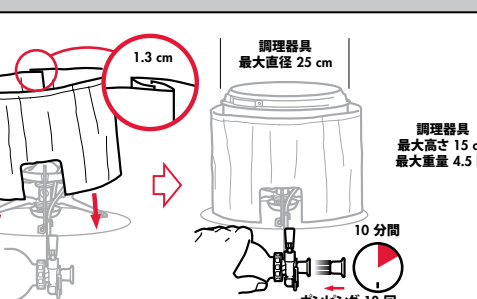


警告

ストープの予熱中、点火中、燃焼中は、顔や体がストープの上に来ないようにしてください。ストープは直火なので、顔や体をストープの上に持つことは、火災、ヤケド、重度の怪我、死亡事故を引き起こす可能性のある危険な行為です。予熱中は、燃料を使用し過ぎないでください。予熱に余分の燃料を使用すると、燃料漏れや燃料がこぼれる原因となり、火災、ヤケド、重度の怪我、死亡事故を引き起こす恐れがあります。ストープが冷めきっていない状態で再度点火しないでください。再度点火するには、火が消えてから最低5分間冷まします。ストープの温度が高い状態で再度点火すると、大きな炎が発生し、火災、ヤケド、重度の怪我、死亡事故を引き起こす恐れがあります。熱いストープや燃焼中のストープを移動しないでください。移動する前には、ストープの火を消してから必ず最低5分間冷まします。熱いストープや燃焼中のストープを移動すると、火災、ヤケド、重度の怪我、死亡事故を引き起こす恐れがあります。

調理目的でのストープの使用

- 1. ウィンドスクリーンをセットアップします。
2. 調理器具に食材や液体を入れます。
3. 調理器具をストープの中央に置きます。
4. 燃料ボトルの圧力を維持します。

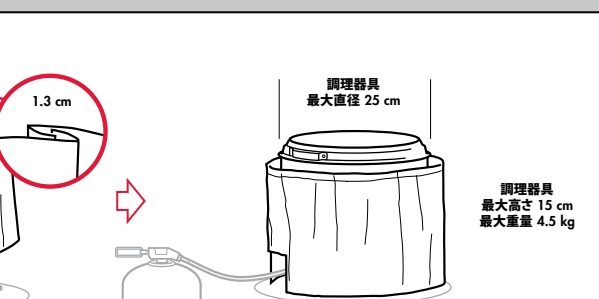


警告

燃料ボトルは、ストープバーナーやその他の熱源に近づけないでください。燃料ボトルは、できるだけバーナーから離れるように接続します。燃料ボトルをバーナーなどの熱源の近くに使用すると、燃料ボトルが爆発し、火災、ヤケド、重度の怪我、死亡事故を引き起こす恐れがあります。ウィンドスクリーンは、決して燃料ボトルの周りに置かないでください。直径25cm以上の調理器具を使用しないでください。2つ以上のストープを並べて同時に使用しないでください。空の鍋あるいは液体が入っていない鍋でストープを使用しないでください。MSR以外の熱反射板またはデューザーカートリッジを使用すると、火災、ヤケド、重度の怪我、死亡事故に至る場合があります。本ストープや五徳の不適切なサイズ、不適切な調理器具、不適切な調理器具など、不適切なサイズの調理器具や不適切な調理器具を使用すると、調理器具やストープが不安定になります。熱い調理器具が倒れたり、その中身がこぼれると、火災、ヤケド、重度の怪我、死亡事故を引き起こす恐れがあります。カスケードデザイン社では、適切なサイズの MSR®ブランドの調理器具の使用のみを保証します。MSR®ブランド以外の調理器具の使用に関しては、利用者自身の責任と判断において使用してください。

調理目的でのストープの使用

- 1. ウィンドスクリーンをセットアップします。
2. 調理器具に食材や液体を入れます。
3. 調理器具をストープの中央に置きます。

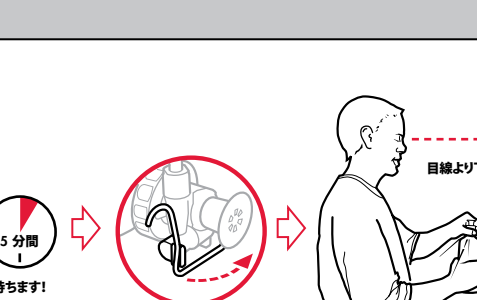


警告

直径25cm以上の調理器具を使用しないでください。2つ以上のストープを並べて同時に使用しないでください。空の鍋あるいは液体が入っていない鍋でストープを使用しないでください。MSR以外の熱反射板またはデューザーカートリッジを使用すると、火災、ヤケド、重度の怪我、死亡事故に至る場合があります。本ストープや五徳に不適切なサイズの調理器具や不適切な調理器具を使用しないでください(例: 凸型または凹型の底の調理器具、ホーロー調理器具など)。不適切なサイズの調理器具や不適切な調理器具を使用すると、調理器具やストープが不安定になります。熱い調理器具が倒れたり、その中身がこぼれると、火災、ヤケド、重度の怪我、死亡事故を引き起こす恐れがあります。カスケードデザイン社では、適切なサイズの MSR®ブランドの調理器具の使用のみを保証します。MSR®ブランド以外の調理器具の使用に関しては、利用者自身の責任と判断において使用してください。

ストープの消火

- 1. コントロールバルブを閉じます。
2. 炎が消えた後、ストープが冷めるまで5分間待ってください。
3. キャッチアームのロックを外して、ポンプから燃料パイプを取り外します。
4. ボトルを減圧してから、ストープを片付けます。

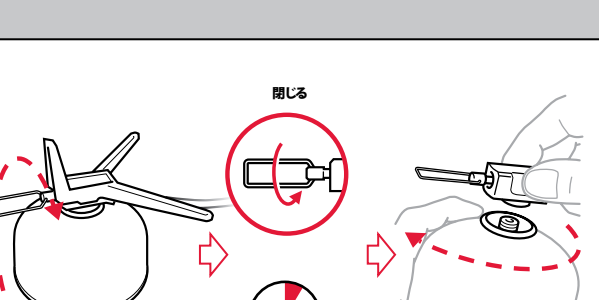


警告

燃料ボトルは、必ず小児の手の届かない場所にしっかりとキャップを締められた状態で保管してください。キャップが緩んだ状態や小児の手の届く場所に燃料ボトルを保管すると、誤って小児が燃料ボトルに触れ燃料をこぼしたり吸引したりという事故を引き起こす恐れがあります。燃料ボトルの中身の燃料を吸ったり飲んだりすると、中毒、重度の怪我、死亡事故などの原因となる場合があります。燃料ボトルは、常に換気のよいところに保管し、温水器、ストープ、口火、暖房器具等の熱源や引火源にならないよう場所に離します。燃料ボトルを熱源や引火源の近くに保管すると、燃料ボトルが爆発し、火災、ヤケド、重度の怪我、死亡事故を引き起こす恐れがあります。

ストープの消火

- 1. ガスカートリッジを倒立位置で使用していた場合は、正立位置に戻します。
2. フレンジャスターバルブを閉めます。
3. 炎が消えた後、ストープが冷めるまで5分間待ってください。
4. バーナーが完全に消火していることを確認します。
5. 引火源となる可能性のあるものをストープを遠ざけ、ガスカートリッジを締めます。



警告

カートリッジが完全に空になったなら、廃棄規制に従って正しく廃棄します。ストープを保管するときは、必ずガスカートリッジを外してください。ガスカートリッジを外さずに保管すると燃料漏れを引き起こし、火災、ヤケド、重度の怪我、死亡事故の原因となる場合があります。ガスカートリッジは、温水器、ストープ、口火、暖房器具、温度が49°Cを超える場所等、熱源や引火源から離れた換気の良い場所に必ず保管してください。熱源や引火源の近くや、温度が49°Cを超える場所等にガスカートリッジを保管すると、爆発する恐れがあり、火災、ヤケド、重度の怪我、死亡事故等の原因となる場合があります。

気筒の栓を閉めておく	空気が逃げないように	必ず
使用後に燃料を完全に消費する	燃料が残りすぎると、燃焼が不安定になる	
燃料が残りすぎると、燃焼が不安定になる	燃焼が不安定になると、燃焼が不完全になり、CO（一酸化炭素）が発生する	
燃焼が不安定になると、燃焼が不完全になり、CO（一酸化炭素）が発生する	燃焼が不安定になると、燃焼が不完全になり、CO（一酸化炭素）が発生する	
燃焼が不安定になると、燃焼が不完全になり、CO（一酸化炭素）が発生する	燃焼が不安定になると、燃焼が不完全になり、CO（一酸化炭素）が発生する	
燃焼が不安定になると、燃焼が不完全になり、CO（一酸化炭素）が発生する	燃焼が不安定になると、燃焼が不完全になり、CO（一酸化炭素）が発生する	
燃焼が不安定になると、燃焼が不完全になり、CO（一酸化炭素）が発生する	燃焼が不安定になると、燃焼が不完全になり、CO（一酸化炭素）が発生する	
燃焼が不安定になると、燃焼が不完全になり、CO（一酸化炭素）が発生する	燃焼が不安定になると、燃焼が不完全になり、CO（一酸化炭素）が発生する	
燃焼が不安定になると、燃焼が不完全になり、CO（一酸化炭素）が発生する	燃焼が不安定になると、燃焼が不完全になり、CO（一酸化炭素）が発生する	
燃焼が不安定になると、燃焼が不完全になり、CO（一酸化炭素）が発生する	燃焼が不安定になると、燃焼が不完全になり、CO（一酸化炭素）が発生する	
燃焼が不安定になると、燃焼が不完全になり、CO（一酸化炭素）が発生する	燃焼が不安定になると、燃焼が不完全になり、CO（一酸化炭素）が発生する	
燃焼が不安定になると、燃焼が不完全になり、CO（一酸化炭素）が発生する	燃焼が不安定になると、燃焼が不完全になり、CO（一酸化炭素）が発生する	

危険

一酸化炭素の危険

このストーブは、無臭の一酸化炭素を発生する可能性があります。密閉された場所で使用すると、死亡事故に至る場合があります。

キャンピングカーやテント、車、屋内等の密閉された場所で、絶対にこのストーブを使用しないでください。

安全のための注意事項

安全のための注意事項

ガスのにおいがしたら、

1. ストーブに点火しないでください。
2. 裸火は消してください。
3. ガスカートリッジを外してください。

安全のための注意事項

このストーブや他のストーブの近くで、ガソリン等の引火性蒸気を発生する液体を保管したり、使用したりしないでください。

重要なこと：このストーブを使用する前に、この取扱説明書全体を熟読し理解してください。この取扱説明書は、後日参照できるように大切に保管してください。この取扱説明書の説明が不明のところがある場合や、ご質問がある場合は、Cascade Designs, Inc. (電話 1-800-531-9531) までご連絡ください。

日本語版の取扱説明書には、安全に関する重要な警告と接続手順が記載されています。図解には、燃料ボルトと接続パイプの取り付け方、締め具合の目安、そして燃焼中に発生する危険（例えば、燃料の漏れや火花）が示されています。また、燃焼が不安定になると、燃焼が不完全になり、CO（一酸化炭素）が発生する可能性があることも警告されています。

英語版の取扱説明書には、安全に関する重要な警告と接続手順が記載されています。図解には、燃料ボルトと接続パイプの取り付け方、締め具合の目安、そして燃焼中に発生する危険（例えば、燃料の漏れや火花）が示されています。また、燃焼が不安定になると、燃焼が不完全になり、CO（一酸化炭素）が発生する可能性があることも警告されています。

限定保証／救済措置および責任の制限

アメリカ合衆国およびカナダ

限定保証: Cascade Designs, Inc. (以下「Cascade」) は、本製品を最初に購入した者 (以下「購入者」) に対し、同梱の製品 (以下「本製品」) について、これが目的どおりに使用されるメンテナンスされる場合に限り、その前用期間内において材料および製造上の欠陥がないことを保証するものです。本製品が (i) 何らかの形で改造された場合、(ii) 製品の使用目的や用途に一致しない目的で使用された場合、(iii) 管理が不適切であった場合、いずれかの場合、材料および製造上の欠陥に対して一切の保証を行いません。また、所有者/使用者が (i) 本製品の取扱い方法あるいは警告に従わなかった場合、または (ii) 本製品を誤用・乱用・放置した場合、保証は無効となります。

保証期間中、Cascade が、本製品の一部分に材料または製造上の欠陥があると判断した場合、修理または良品との交換を行います。購入者はそれ以外の救済措置を求めることはできません。Cascade は、製造中止となった製品を同等の価値および機能を持つ新製品と交換する権利を有するものとし、修理不可と判断された製品は、Cascade の所有物となり、お客様には返送されません。

上記の限定保証を除き、Cascade、その関連会社、サプライヤーは、法的に認められる最大範囲まで、明示的・黙示的・法定を問わず、本製品に関する、商品性、潜在的欠陥の不在、特定目的への適合性、記述内容との一致等の黙示的な保証等を含めこれに限定されない一切の保証を行わず、また、すべての保証、義務、条件に対する一切の責任を否認するものです。

保証サービス: 本保証によるサービスを受けるためには、Cascade認定販売店に保証対象内の製品を提示しなければなりません。米国およびカナダにおいては、電話による保証サービスを受けることができます。電話: +1-800-531-9531 [月曜から金曜、太平洋時間 8:00 から 16:30 まで]

燃料情報

米国・英国・カナダ	ドイツ/スイス	日本	フランス	オランダ	スペイン
LIQUID FUEL	FLÜSSIGBRENNSTOFF	液体燃料	CARBURANT LIQUIDE	VOELBARE BRANDSTOF	COMBUSTIBLE LIQUIDO
White Gas, Naphtha	Kocherbenzin, Reinbenzin	ホワイトガソリン	Pétrole à brûler, Essence C	Wasbenzine	Benicna blanca
Kerosene	Petroleum	灯油	Kérosène	Petroleum Lampolie	Parafina
Unleaded Auto Gas	Autobenzin	自動車用無鉛ガソリン	Essence sans plomb	Benzine	Gasolina sin plomo
CANISTER FUEL	FLÜSSIGBRENNSTOFF KARTUSCHEN	ガスカートリッジ燃料	CARTOUCHE DE GAZ	TANK ONDER DRUK	BOMBONA DE GAS
Butane, Isobutane, Propane	Butan, Isobutan, Propan	ブタン、イソブタン、プロパン	Butane, Isobutane, Propane	Butaan, Isobutaan, Propan	Butano, Isobutano, Propano

危険

一酸化炭素、火災、爆発の危険

このストーブと燃料の使用により、重大な危険が生じる場合があります。失火や爆発、誤用により、死亡事故や重度のヤケド、物的損害を引き起こす恐れがあります。使用者には、自分自身の安全および周りの人たちの安全に対する責任があります。適切な判断を行ってください。

このストーブは屋外専用です。テント、前室内、車内、屋内、または換気の悪い場所ではストーブを絶対に使用しないでください。このストーブは酸素を消費し、有毒で無臭の一酸化炭素ガスが発生します。このストーブは、近くにある可燃物や引火性液体・蒸気を容易に引火させます。密閉された空間でこのストーブを使用すると、死亡や重症のやけどに至る危険性があります。

サービスを受けるために Cascade に本製品を返送する場合、返送にかかる費用はすべてお客様の負担となります。本製品が修理または交換保証の対象であると Cascade が判断した場合、修理や交換後に製品を購入者に返送する際にかかる配送・取扱手数料については、Cascade が負担するものとし、返送された製品が修理可能でも保証サービスの対象外の場合は、配送・取扱手数料を含めた相当の費用で有償修理をお受けいたします。保証サービスのための返送に関する詳しい情報は、www.msrgear.com をご覧ください。

救済措置の制限: 管轄裁判所が上記の限定保証の対象であると裁定した場合、Cascade の義務は製品の修理または交換に限定されるものとし、その判断は Cascade によるものとし、上記の救済措置が本質的目的を満たさない場合は、Cascade は購入者に、製品の返品に対して購入時の購入代金を払い戻します。上述の救済は、法的根拠の如何にかかわらず、Cascade、その関係者会社、サプライヤーに対して購入者によるものでできる唯一かつ排他的な救済です。

責任の制限: Cascade、その関係者会社およびサプライヤーの最大責任額は、本製品の初回購入時の購入価格を上回らない付随的損害額となります。Cascade、その関係者会社、サプライヤーは、理由の如何を問わず、結果的損害等に関するいかなる責任も一切否認し、これを対象としないものとし、この指針および指針は、損害賠償を定めるすべての法理規則に対して適用され、また、救済措置が本質的目的を果たさない場合も適用されます。

本限定保証は、購入者に特定の法的権利を与えるものではありません。購入者は、本保証以外の法的権利を持つこともありますが、その内容については地域によって異なります。

本製品および Cascade の他の製品について、安全、使用、操作、メンテナンスの指示を必ず完全に守ってください。

欧州連合(EU)におけるお客様への法的権利は、本保証の限定の影響を受けません。本保証の法的権利は米国およびカナダ国内でのみ有効です。

屋外使用のみ

2009/142/EC (51802370-2011)
種類: 蒸気圧ボタン・プロパン

公称出力
3.6 kW
255 g/h

ストーブのオフィスサイズ: 0.31 mm

注意: 具体的な基準機関の検査手順により公称熱出力率は変わります。

取扱説明書

MSR MOUNTAIN SAFETY RESEARCH

WHISPERLITE™ UNIVERSAL ストーブ

後日参照できるように大切に保管してください。

MSR MOUNTAIN SAFETY RESEARCH

製品サービスおよび情報に関するお問い合わせ先
Cascade Designs, Inc.
4000 First Avenue South, Seattle, WA 98134 USA
+1-800-531-9531 または +1-206-505-9500
www.msrgear.com

MSR 燃料以外の商品のご使用は、おためできません。
外国での燃料の名称や安全なストーブの持ち運びに関するさらに詳しい情報については、www.msrgear.com をご覧ください。

本取扱説明書は、一般古紙 30% を含む再生紙を使用しています。 ASTM 33-340 | JP